

# ままごと新聞

MAMAGOTO NEWSPAPER

発行元：ままごと

MAY 27, 2016 NO.17

## 瀬戸内の夏が またやって来る

柴幸男

ままごとが小豆島と関わるようになって4年目。今年も瀬戸内国際芸術祭も開催されます。もちろん、今年もままごとは『港の劇場』を上演します。

今年、上演する演目は大きく2つ。まず、1つは『喫茶ままごと』。ままごとが実際に喫茶店を運営し、お店でくつろいでもらったり、パフォーマンスを鑑賞してもらおうという作品です。

『喫茶ままごと』の会場となるe.CAFEは、もともと3年前に僕たちを迎えてくれたカフェでした。海を見ながら休憩をしたり、店内で作品を上演させてもらったり。しかし、残念ながら今年も通常営業の予定はないとのこと。ならば、ままごとが運営から手がけてみようという話から今作は生まれました。しかも、最初は夏だけの営業を予定していたのですが、劇団員の宮永が春、夏、秋、全会期の運営を単身申し出るという驚きの展開に。

そんなわけで春会期の『喫茶ままごと』は無事に営業を終了。ありがたいことに予想よりも盛況だったそうです。にゅーもんやレモネードなど、僕たち

が島で出会った食材を使ったオリジナル料理やドリンクが盛りだくさんで、そこまでやらないでも心配していた宮永以外の劇団員たちも、今では早くメニューを味わえるのを楽しみにしています。

その『喫茶ままごと』で夏にパフォーマンスを上演します。注文制での上演で僕は全体の演出をしつつ、演者としても参加します。僕のパフォーマンスは「物語をつくる」というものになりそうです。

そして、もう1つの演目は今夏の目玉『小豆島きもだめス イッチ』です。

今や全国で公演を行っているスイッチ総研とのコラボレーション。かつて坂手港にあった「きもだめし」から着想を得て、実際に夜の港町を歩きながら鑑賞するツアー作品です。

実はこの作品は2014年の夏に一夜のみ上演されたものでした。そのあまりの評判に1回だけではもったいないと、今回はリニューアル上演を計画しています。島のみなさんに協力を得たり、広く出演者を募ったりする予定です。小豆島、ままごと、スイッチ総研ならではの「きもだめし」を上演します。

今年も暑い夏になりそうです。海は今年も太陽の光をまぶしく反射させることでしょう。涼しく冷えた『喫茶ままごと』と『小豆島きもだめス イッチ』にて、みなさまをお待ちしております。

# 今年の夏も、ままごととは小豆島へ

## 「瀬戸内国際芸術祭 2016」

3年に一度、瀬戸内海の諸島を舞台に開かれる瀬戸内国際芸術祭。ままごとはスイッチ総研ほかをクリエイションの仲間として招き、今年もまた、小豆島でアツい夏を過ごす。

ままごとが初めて瀬戸内国際芸術祭に参加したのは、2013年。春・夏・秋と3期に渡って小豆島坂手港地域に滞在し、島の人たちと交流を重ねながらさまざまな作品を生み出した。

春会期にはまず、坂手港付近の路地を使った「おさんぽ演劇」を創作。柴幸男と大石将弘がそれぞれ案内役を務め、観客とともに町を歩きながら、坂手の港町にちなんだ物語を楽しむという体験型パフォーマンスを上演した。

夏会期には、音楽家の蓮沼執太とともに盆踊り「いつでもえいよ小豆島音頭」を創作。また、8月に愛知で初演した、大人と子供が一緒に観劇できる劇場向け作品『日本の大人』を、小豆島でも上演した。

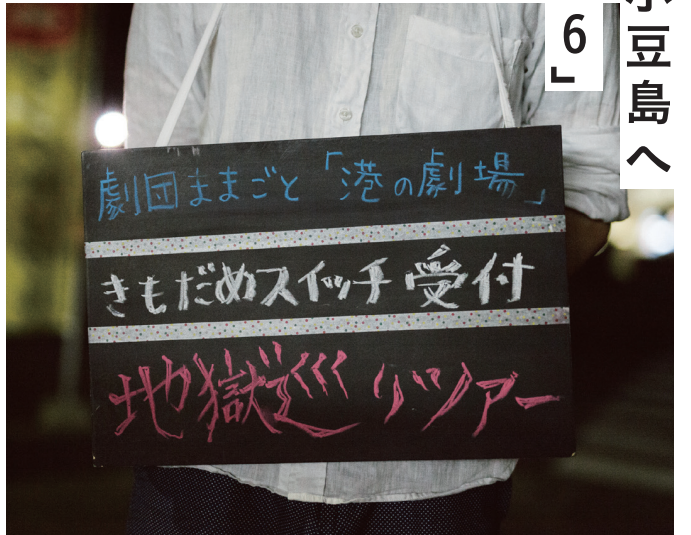
秋会期には、春に創作した「おさんぽ演劇」の改訂版を上演。また星野概念実験室との「島めぐりライブ」や、名見耶ゆりによる道ばたダンス「しろうゆしろうゆしろう」、端田新菜の紙しばい、grafによる映像展示作品「そうめん体操」を実際にラジオ体操のように行うパフォーマンスなど、さまざま

まな演目が生まれた。さらに島の人たちとの交流を深め、演劇の「出前」も行った。

翌2014年には「アート小豆島・豊島」に参加することになり、再び小豆島へ。「おさんぽ演劇」「紙しばい」「しろうゆしろうゆ」のほかに、「しろうめん体操」、歌いながら港町を巡る「うたう火の用心」や劇で知らせる火の用心「防災演劇」などを行った。さらに現・スイッチ総研メンバーの光瀬指絵、大石、山本雅幸を中心に「小豆島スイッチ」も誕生。その一環として、夜の港町を舞台にした「きもだめスイッチ」が行われた。

それらの活動を経て、2015年にはままごとの代表作『わが星』を、小豆島高校の体育館で上演。2013年来、少しずつ関係を深めてきた島の人たちによりやくままごとの演劇「を体感してもらう」ことができた。

このように、2013年から毎年小豆島を訪れてきたままごと



前回の「小豆島きもだめスイッチ」より。撮影：演田英明

が、今年も瀬戸内国際芸術祭に参加する。今回は夏会期のみに参加だが、劇団員の宮永琢生が3月から島に滞在し、カフェ「喫茶ままごと」をオープンさせたほか、「きもだめスイッチ」出演者の公募が始まるなど、着々と準備は進められている。

ままごと×スイッチ総研で生み出す、新たな「きもだめスイッチ」

今年の目玉となるのが、ままごと×スイッチ総研による『きもだめスイッチ』だ。先日行われた『きもだめスイッチ』会議の場で、スイッチ総研所長・光瀬指絵に前回は振り返ってもらおうと、「感動し

ました！完璧でした！」と即答。「前はまだまだスイッチ総研も立ち上げ前でしたから、ただスイッチをつくるメンバーとして小豆島を訪れていたんですね。で、滞在中に島の人から、島にはきもだめしをやる習慣があったという話を聞いて、スイッチときもだめしが多く融合できたら面白いなと思ってます。ただ自分にとっても生まれて初めての経験でしたし、前は俳優が4人だけだったので、島の役場の方たちにも準備を手伝っていただいたり、出演もしていただいたりして……。作品的には、暗闇の中で悲鳴の後に爆笑が響く、新鮮な体験でしたね」と「きもだめスイッチ」誕生を語る。

今回再び『きもだめスイッチ』を上演することになったのは、柴からのオファーだという。柴は「前は僕が別作品の稽古中で観

られなかったんです。でも評判を聞いたら面白そうだったし、『きもだめスイッチ』が坂手町にとって夏恒例の、人が集まる行事になったらいいなと思って、スイッチ総研にお願いしたんです」と経緯を語る。

具体的な作品内容についてはこれから検討する予定だが、メンバーの大石は「前は準備の時間も短く、出演者も少なかったけれど、今回は創作期間もメンバーも増えるので、いろいろ試してみたい。街の人にも参加してもらえたらいいなと思ってます」と希望を述べる。光瀬も「現在さまざまな場所で行っている、ツアー型スイッチは小豆島で始まったものなので、恩返しではないけれど、島の人たちにもう1回参加してもらえたらなと思ってますね」と笑顔になった。さらに光瀬が「今回



前回の「小豆島きもだめスイッチ」より。撮影：演田英明



前回の「小豆島きもだめスイッチ」より。撮影：演田英明



「喫茶ままごと」として今春オープン!

は、ままごとXスイーツ総研の名義でやるので、内容的にも一緒にできるといいなと思ってるんです」と語ると、メンバーの山本は「確かに前回、きもだめしという共通テーマはあったけれど、現在のスイーツ総研が作っているツアー型スイーツに比べると、それぞれのスイーツの関連性や一貫したストーリーは少なかった。そういう部分でも、柴君にもう一人の作家として別の視点でフォローしてもらえたら面白いかもしれないですね」と頷いた。

その「きもだめしスイーツ」以外に、今年の瀬戸内国際芸術祭でままごとは、ドリンクやフードメニューと同様にパフォーマンスも注文できる「喫茶ままごと」を開催する。きもだめしスイーツを楽しんだ後、帰りのフェリーまでの時間を、ぜひ「喫茶ままごと」で過ごしてみては?

## 「喫茶ままごと」 開店のご挨拶



いらっしやいませ。  
ようこそ小豆島・坂手港へ!

今回「喫茶ままごと」について書けるスペースを頂けたので、まずは小豆島で喫茶店をやるうと思つた経緯から説明しようかと思うのですが、まあ簡単に言うところ「ままごと」がパフォーマンスをする時だけ島に、来るのでは意味がないなと思つていて、やっぱりこの島に、いることから生まれる演劇を作りたいとずっと思つていて。そうした時に、自分たちの活動拠点が必要だなと思つたのが1つの理由です。もう1つは、やっぱり前回の瀬戸芸の経験から、「CAFE」という場所が、観光客と

滞在アーティスト、そして島民の皆さんが交わる場所として絶対的に必要だと思つた、ということが大きいのかなと。

で、今は春会期の営業が無事終了したところ。周りから飲食経験もないのに度胸あるよねって言われたりもしましたし、実際劇団員からも「え?会期中ずっと喫茶店やるの?」みたいなリアクションもあつたりしたんだけど、自分としてはこの「喫茶ままごと」も演劇活動の延長線にあるんですよ。



ました。自分はどんな「劇場」を必要としているのか、みたいなこと。このキャッチコピーは、お店に入つてすぐのところに飾つてあります。お気に入り。

《劇場》を作ろうとしたら、「喫茶店」になりました。これが「喫茶ままごと」のキャッチコピー。自分自身、なんで「喫茶店」をやるうって思つたのかよくわからなかつたんだけど、自分からこの言葉が出てきて、あ、やっぱり自分は「劇場」ってものをずっと思つてるんだなと思つて



春会期のオススメは、小豆島瀨崎パンを使用した「島のホットサンド」(通称「島サン」)! 春会期中身はラタトゥイユでしたが、夏会期以降の中身はまた変わる予定。いつでも焼き立てをお届け致します。

夏会期は、7月18日(月・祝)〜9月4日(日)まで営業予定。新メニューもお楽しみに!! 8月12日(金)〜28日(日)には、あなただけのパフォーマンスもご注文頂けますよ! 皆様のご来島&ご来店を小豆島・坂手港にてお待ちしております。

「まちとつくる  
演劇」@豊橋  
いよいよ始動!



オーディションの様子

今年の秋、愛知・豊橋にて、柴幸男が新作を手がける。その出演者オーディションを兼ねたワークショップ「劇場から音楽を創る」が、3月25・26日に愛知・穂の国とよはし芸術劇場ROHTにて行われた。新作は音楽を重視した演劇作品にしたいという柴。オーディションでも候補者に音楽に対する関心や楽器の演奏経験などを尋ねる場面が見られた。また、Theater ZOU-NO-HANAや小豆島での「港の劇場」でも活動を共にしてきた、ミュージシャンの星野概念と青木拓磨が本作に参加することが決定し、作品の輪郭が少しずつ固まりつつある。

新作上演にあたり柴は、「豊橋で行った『劇場をモチーフ』に2曲の新しい歌をつくる」という無謀なワークシヨップは予想以上の成果をもって終了。老若男女、音感有無、すべてごちゃまぜになった魅力あふれる音楽ができました。9月にはこの方法を発展させて豊橋のさまざまなスポットから音楽をつくり、そして、実際にその場所で演奏しながら移動する、移動型音楽合唱隊とも言えるようなチームをつくり、豊橋の街全体が音楽に包まれるような作品を上演します。大勢の演奏、合唱隊のメンバーを募る予定です。お楽しみに！」とコメントしている。

公演は9月22・24・25日に行われる予定。詳細は決定次第、またお伝えする。

## 各地に出没!?

## 劇団員たちの

## 近況報告

2016年の春は、個人活動が中心だったままごと劇団員。各人に写真とコメントで近況報告してもらいました!

### 大石将弘

「4月から多摩美術大学で非常勤講師として演劇の授業をしています。自分にとっても演技や俳優の仕事について捉え直す機会になりそう楽しみです。それから、出演する木ノ下歌舞伎『義経千本桜―渡海屋・大物浦―』は、今、歌舞伎の映像を見ながらセリフや一挙手一投足を全て細かくコピーする稽古中。からだでもやっつて、木ノ下歌舞伎の稽古より



木ノ下歌舞伎の稽古より

みてわかる面白さと難しさを知る毎日です。」



「白企画」[GATE] 撮影：加藤和也

### 端田新菜

「自分で作ったら超おいしい! ローストビーフにはまって、クリスマス、お正月、自分の誕生日と3回作り、3月で39歳になりましたサンキュー! 野上絹代ちゃん(快快)のソロユニット『三月企画』に出演させてもらって、母、婆、園児、先生などを演じ、とい

うか自分を勝手に伸縮させて走り回り、4月は山内ケンジ×山内健司の『Wけんじ企画』。やばい。この原稿を書いている今日新しい台本をもらいましたが、え、私これはどうすればいいんだ。どうなるんだ?」

### 宮永琢生

「3月下旬から現在まで小豆島。坂手港に滞在しています。その間に1日だけ、『ペピン結構設計』が、高松・仏生山で行った滞在制作型まち歩き演劇作品『パラダイス仏生山』の映像上映会+トークイベント『まちを劇場にする』にゲストとして参加してきました。劇中には、実際に仏生山に住む人びとが登場し、彼らの生活を通してこの町の演劇が立ち上がって、この町の演劇が立ち上がって、地域と関係しながら生まれる演劇の可能性を感じました。写真は劇中に出てくる『ひじきベージュ』。激うま。」



「ひじきベージュ」。

### 加藤仲葉

「大石さんが出演する木ノ下歌舞伎『義経千本桜―渡海屋・大物浦―』の稽古場で毎日稽古を見守ったり、また岡崎藝術座が三重県文化会館で7月に公演する『51アピアシオン、サンボルハ』『イスラ! イスラ! イスラ!』の2本立て公演に向けて準備を進めたりと、ままごとから足をのばしてあちこちで活動する日々を過ごしています。もちろん、夏の小豆島に向けても準備中! 写真は偶然出会った柴さんと木ノ下先生! スナップ写真感すごいです。なんだかうれしかった一枚です。」



柴(左)と木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎)

# NEXT

## 木ノ下歌舞伎

「義経千本桜―渡海屋・大物浦―」

◇大石将弘【出演】・加藤仲葉【制作】

@愛知・愛知県芸術劇場小ホール

2016年5月27日【金】・30日【月】

@東京芸術劇場シアターイースト

2016年6月2日【木】・12日【日】

@愛知・ハートフルホール

(豊川市御津文化会館)

2016年6月18日【土】

<http://kinoshita-kabuki.org/okabuki>

## 岡崎藝術座

「51アピアシオン、サンボルハ」イスラ! イスラ! イスラ!」2本立て

◇加藤仲葉【制作】

@三重・三重県文化会館小ホール  
2016年7月9日【土】・10日【日】  
<http://okaki-art-theatre.com>

瀬戸内国際芸術祭2016

小豆島町未来プロジェクト

ままごと・港の劇場「喫茶ままごと

(喫茶店)」

@宮永琢生【店長】

@ei CAFE(香川・小豆島坂手港)

夏会期 2016年7月18日【月・祝】

9月4日【日】

秋会期 2016年10月8日【土】

11月6日【日】

\*月曜定休(祝日の場合は火曜休)

\*瀬戸芸イベントの開催により休みの場合あり

<http://mamagoto-cafe.tumblr.com>

瀬戸内国際芸術祭2016  
小豆島町未来プロジェクト

ままごと・港の劇場「喫茶ままごと

(パフォームズ)」

@柴幸男・宮永琢生・大石将弘・

端田新菜・加藤仲葉【作・演出・出演】

@ei CAFE(香川・小豆島坂手港)

2016年8月12日【金】・28日【日】

<http://mamagoto.tumblr.com>

瀬戸内国際芸術祭2016

小豆島町未来プロジェクト

ままごと・港の劇場「

ままごとXスイーツ総研「小豆島きも

だめスイーツ」

◇柴幸男・宮永琢生・大石将弘・

端田新菜・加藤仲葉【研究開発・出演】

@香川・小豆島坂手エリア  
2016年8月20日【土】・21日【日】・  
27日【土】・28日【日】  
\*各日19時30分より

<http://mamagoto.tumblr.com>

あいちトリエンナーレ2016 特別連

携事業「まちとつくる演劇」

スイーツ総研「穂の国とよはし芸術劇

場スイーツ」

◇大石将弘【研究開発・出演】

@愛知・穂の国とよはし芸術劇場PLAT

ほか

2016年9月10日【土】・11日【日】

<http://www.toyohashi-at.jp>

あいちトリエンナーレ2016 特別連

携事業「まちとつくる演劇」

ままごと「まちとつくる演劇」

◇柴幸男【構成・演出】・加藤仲葉【制作】

@愛知・穂の国とよはし芸術劇場PLAT

ほか

2016年9月22日【木】・24日【土】・

25日【日】

<http://www.toyohashi-at.jp>

編集後記 今号は、2度目の参加となる

瀬戸内国際芸術祭の話題を中心に、劇団員

たち個々の活動についてのお知らせとなり

ました。劇団員たちが徐々にそろうのは、夏

の小豆島。ぜひお出かけください!そして

次号18号もお楽しみに。(熊井)